

# 平成30年度 第43回関東中学校軟式野球大会

平戸中学校(神奈川)

対

大月東中学校(山梨)



緊迫の延長戦！尾藤の本塁打から一挙5得点！激闘を平戸が制す！！

山日YBS球場	1回戦	第1試合	開始時刻	9:28	終了時刻	11:23	試合時間	98分					
チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	特1	特2	特3	計
平戸中学校(神奈川)	0	0	0	0	0	0	0	5					5
大月東中学校(山梨)	0	0	0	0	0	0	0	0					0

【審判】 球審: 松野 光一 一塁: 石井 大晴 二塁: 諏訪部 俊之 三塁: 松原 潤  
 【投手-捕手】 平戸中学校(神奈川) 投手-捕手: 清水-出羽 大月東中学校(山梨) 投手-捕手: 藤本-金森  
 【長打】 二塁打: 清水(平戸) 三塁打: 本塁打: 尾藤(平戸)

<試合経過>序盤は、互いに好機を作るも得点には結びつかない展開。初回は両チーム先頭打者が出塁、犠打や盗塁から進塁するがあと一本がでない。清水(平戸)藤本(大月)両エースの粘り強い投球が光る。3回の裏一死から1番中尾、2番長田(大月)が連続安打、盗塁を決め二死2・3塁を作るも無失点。中盤も、互いに一步も譲らず、スコアボードには0の数字が並ぶ。4回表、6番米田(平戸)がライトへの安打、続く7番森本(平戸)が四球を選び1・2塁の好機をつくるも、後続にあと一本は許さない。5回表にはセンター内田(大月)が前方のフライにダイビングキャッチをみせる。5回裏、一死から1番中尾(大月)が俊足をいかしサードへのセーフティーバンドを決める。盗塁を試みるも、強肩のキャッチャー出羽(平戸)がそれを許さない。両チームの鍛え抜かれた守備が光る。終盤も、互いに譲らずに延長戦へと突入する。8回表先頭9番尾藤(平戸)が右中間を破り、一気にホームまで駆け抜け均衡を破る。その後、3番清水(平戸)の二塁打、中村(平戸)のセンター前安打などで一挙5点。激闘を平戸が制した。(敬称略)

打順	守備	選手	打席	打数	安打	打点	三振	四死球	犠打	盗塁
1	5	石川 颯真	4	4	0	0	0	0	0	0
2	2	出羽 雅	4	3	0	0	1	0	1	0
3	1	清水 虎太郎	4	4	1	2	0	0	0	0
4	9	加藤 颯真	4	2	0	0	0	1	1	0
5	4	中村 葵大	4	4	1	1	1	0	0	2
6	7	米田 将也	4	4	1	0	0	0	0	0
7	3	森本 春陽	4	3	1	0	0	1	0	0
8	6	鈴木 新	3	3	0	0	1	0	0	0
9	8	尾藤 恵太	3	3	1	1	0	0	0	0
計			34	30	5	4	3	2	2	2



### チームコメント

**平戸中 大山監督**  
 苦しい試合だった。これまでの予選も粘り強く戦い、逆転で勝ち進んできた。技術的には自分たちのチームが一番劣っているという気持ちで、これまでの取り組みをしっかりと出して、目の前の試合をしっかりと戦っていきたい。

**平戸中 出羽主将**  
 序盤でなかなかランナーが出ず、得点もできずに焦っていた部分もあった。ピッチャーがよく粘ってくれた。自分たちは挑戦者なので、一戦一戦を強い気持ちで戦っていきたい。

**大月東中 木下監督**  
 打たせて取るピッチングで抑えられていた。攻撃では良いチャンスができていたが、最後に一本が出ず、リズムが乱れ、悔しかった。

投手	回数	アウト	打者	球数	被安打	奪三振	四死球	失点
清水 虎太郎	8	24	32	126	6	11	2	0

打順	守備	選手	打席	打数	安打	打点	三振	四死球	犠打	盗塁
1	4	中尾 恭輔	4	3	3	0	0	1	0	2
2	5・9	長田 京也	4	3	1	0	1	1	0	2
3	6	榎野 然	4	4	0	0	3	0	0	0
4	7	清水 創太	4	4	0	0	3	0	0	0
5	2	金森 優太	4	4	0	0	1	0	0	0
6	8	内田 翔也	3	3	0	0	1	0	0	0
7	3	渡邊 楽	3	3	2	0	0	0	0	0
8	9	清水 真里	1	1	0	0	1	0	0	0
	H	小林 翼	1	1	0	0	1	0	0	0
	5	藤本 壮太	1	1	0	0	0	0	0	0
9	1	藤本 響々	3	3	0	0	1	0	0	0
計			32	30	6	0	12	2	0	4

投手	回数	アウト	打者	球数	被安打	奪三振	四死球	失点
藤本 響々	8	21	33	118	5	3	2	5

